

# 【参考】ETC2.0システムの概要

ETC2.0は、これまでのETCと比して、

- ・大量の情報の送受信が可能となる
- ・ICの出入り情報だけでなく、経路情報の把握が可能となる

など、格段と進化した機能を有しており、道路利用者はもちろん、道路政策に様々なメリット※をもたらし、ITS推進に大きく寄与するシステムです。また、ETC2.0では、路側機と自動車に搭載された車載器との双方向通信により、ドライバーへの情報提供サービスとともにプローブ情報の収集が可能となります。

※ETC2.0で期待されるサービス例：経路上の広域情報や画像の提供、特車許可における一括申請や自動更新、高速料金の経路割引や一時退出



## 【参考】用語について

### ○「プローブ情報」

ETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビに記録された走行位置の履歴などの情報で、道路管理者が管理するITSスポットと無線通信を行うことによりETC2.0車載器及びETC2.0対応カーナビから収集される情報のこと。

参考URL：[https://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot\\_dsrc/oshirase.html](https://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/oshirase.html)

### ○「平均旅行速度」

対象区間延長を走行に要した時間で割った平均速度のこと。信号などによる停止時間を含む。高速道路、一般道路ともにETC2.0プローブ情報よりデータを取得している。

### ○「トリップ長・OD分析」

- ・「トリップ(Trip)」は、ある目的(例えば、出勤や買物など)を持って起点から終点へ移動する際の、一方向の移動を表す概念であり、同時にその移動を定量的に表現する際の単位。トリップ長の場合、その移動に要した距離のことをさす。
- ・OD分析=Origin(起点・出発点)とDestination(終点・目的地)を把握することで、現在の道路と道路交通の実態を把握し、道路計画の策定や道路の維持・修繕、渋滞対策等に活用する分析のこと。